



岩月竹光作「鳴海織部沓形茶盃」

見せる魅せられるまち。

やきものの歴史において1000年余の伝統文化を誇る「瀬戸焼」のまち、瀬戸。江戸時代、瀬戸の窯業技術が飛躍的に向上し、瀬戸でつくられたやきものが広く日本に流通したため、「せともの」という言葉は、陶磁器を指す代名詞にもなったほどです。

同時に、瀬戸焼を育んだみずみずしい水と緑も、瀬戸市の特徴といえるでしょう。こうした瀬戸焼の歴史や文化、四季折々の豊かな自然を生かし、まち全体を美術館や博物館に見立てたプロジェクト「せと・まるっとミュージアム」が進められています。やきものづくりが間近に感じられる散策路、窯元の工房や軒を連ねるギャラリーショップ、桜や紅葉をはじめとする風光明媚な自然景観、魅力あふれる瀬戸のまちをぜひお楽しみください。



1. 瀬戸蔵ミュージアム

瀬戸焼の総合博物館として、1000年余のせともの歴史の移り変わりを紹介。昔の石炭窯や工場、瀬戸の街並みも再現され、まるで昔の瀬戸へタイムスリップしたようです。

2. 陶祖碑

陶祖・藤四郎の業績を伝える陶製の六角碑。高さ4.1mで陶製のものとしては世界最大級の大きさ。市指定文化財です。

3. 瀬戸焼

瀬戸市は日本有数の陶磁器の生産地であり、その歴史は深く、発祥当時より「釉薬(＝うわぐすり)」を使用していたのは瀬戸のみです。

4. 美術館・展示体験施設

市内には様々な美術館や展示体験施設があり、作陶やガラス制作の体験など、実際に見て、触れて、楽しめる施設も多くあります。他にも、窯元や作家の工房、街角の小さなウィンドーギャラリーなど約200の「街角ギャラリー」が登録されており、街のあちこちで、瀬戸の人々がつくる芸術(アート)に触れることができます。

5. 来る福招き猫まつりin瀬戸

毎年9月に開催。日本全国の様々なジャンルのアーティストによる創作招き猫の展示をはじめ、パリエティー豊かな招き猫の雑貨などを購入できます。

6. 陶のまち 瀬戸のお雛めぐり

毎年2月に開催。高さ4mのピラミッド型のひな壇に、陶磁器やガラスで創られた彩り豊かなひな人形約1000体が飾られます。

7. 窯垣の小径・窯垣の小径資料館

窯道具を積み上げて築かれた幾何学模様の石垣や塀が美しい「窯垣の小径」。窯元邸を改装した資料館もあります。

8. 定光寺公園

桜と紅葉の名所。一帯の自然休養林は愛知高原国定公園の一角を占め、自然を満喫できます。

9. 岩屋堂公園

愛知高原国定公園に指定されている岩屋堂は、川遊び、紅葉、瀬戸大滝など、四季を通じて自然の恵みあふれる、この地方有数の景勝地です。



せと・まるっとミュージアムイメージキャラクター
せとちゃん
瀬戸焼のお茶碗に入った女の子。おもてなし看板娘として、大人気のキャラクターです。